



浜田水産高校「同窓会会報」



〒697-0051

浜田市瀬戸ヶ島町25-3

TEL 0855-22-3098 Fax 0855-23-4811

E-mail hamadasuisan-hs@edu.pref.shimane.jp

H P <http://hamasui.ed.jp>

會長挨撈

浜水会会長 米谷 浩

浜水会会員の皆様におかれましては、各方面で日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

常日頃、母校及び浜水会の発展のため、物心両面のご配慮いただきありがとうございます。厚くお礼申し上げます。

私は昨年6月、浜水会総会で会長に推挙され、就任いたしました。前会長山崎晃氏は、私の浜田水産高校在学中の先生であり、手旗信号等を教示いただいた記憶もごさいます。私が在学をしていた頃の学年は、男子生徒3クラス、女子生徒1クラスで、どちらかという男子校のようなイメージが強く、怖い先生に怖い先輩たちで高校生活を送った思い出があります。

また、部活は野球部に入部し、部員数は30名を超えていました。日が落ちるまで白球を追いかけ、グラウンドを駆けずり回り大声を出し一日が終わった記憶しかありません。ただ先輩たちが怖くて、同じ学年の野球部員と涙しながら最後まで頑張ったことを今でも覚えています。3年生になると主将を命じられ、最後の夏は浜田市営球場で戦ったものでした。水産高校の3年間で学んだことは、最後までやり抜く諦めない心を養えたと思っています。

あの頃は想像できなかった、日本は速いスピードで少子化が進んでいます。例えば、今年の浜田水産高校の卒業生の数は、男女合わせ40名足らず、又、生徒は昔のヤンチャなイメージが全く無く、とてもおとなしい生徒たちと受け止めています。

今年の卒業式に浜水会会長として、初めて出席することになった私は、昔の卒業生の多い活気あるものではなく、普通に式典を終える卒業式と思っていました。しかし、実際は生徒たちの送辞や答辞の素晴らしさに涙し、感動する生徒や先生たちを拝見した最高の卒業式でした。

現在全国に約4900校ある高校の中で、水産高校はわずか46校、そのうち2校が島根県にあります。実際、浜田水産高校今年の卒業生38名のうち、他県から入校した生徒は約3割を占めます。

今後私たち OB の使命は、浜田水産高校を存続させ、現生徒達や PTA の皆様と共に、いかに手助けができるかを考え、OB・OG で構成された浜水会を継承しなければならないと、卒業式に出席させて頂き、改めて銘肝しました。

永年尽力された前会長山崎晃氏からバトンを受け



取った私たち世代が、次の世代に確実にバトンを渡せるまで尽力させて頂く所存です。

多くの諸先輩達に敬意を表し、浜田水産高校の益々の発展と、会員皆様のご多幸とご健康を祈念いたします。

今後の浜水会へのご指導を宜しくお願いします。



令和5年度卒業式（令和6年3月1日）

令和5年度 浜水会事業

令和2年度から令和4年度までの3年間はコロナ禍により浜水会入会式及び、同窓会会報「翠香」発行以外の事業は実施できませんでした。しかし、昨年5月に新型コロナウイルス感染症が2類から5類に移行したことで、今年度の事業は以下のとおり実施することができました。

令和5年度 浜水会役員会

日 時：令和5年5月14日（日）10:00～12:00

会 場：浜田水産高校会議室

会長・副会長をはじめ、理事・監査及び事務局の計17名の参加により、令和5年度役員会が開催されました。詳細は定期総会の項で後述いたしますが、本会において令和2年から延期となっていた定期総会を6月25日に開催すること、及び総会へ議題として提出する新会長を含む令和5年度役員案が認められました。

浜水会総会・懇親会

日時：令和5年6月25日（日）16:00～19:30

会場：浜田ニューキャッスルホテル

令和2年は定期総会の開催年でしたが、コロナ禍により延期となりました。今年度初めにコロナウイルス感染症が5類に移行されたことで、6年ぶりに総会を開催することができました。この間丸3年はほとんどの事業を行えませんでした。やっと対面で集うことができ、総会に続いた懇親会で会員相互の親睦

を深めることができました。

議事の概要は以下のとおりです。

(議題)

①事業報告

平成29年度から令和4年度までの事業報告が事務局よりありました。毎年役員会で承認された事業報告を、総会において会員の皆様にお知らせしていましたが、コロナ禍で総会が開催されなかったため、今回は6年分の報告となりました。

②会計・監査報告

事業報告と同様に6年分の会計・監査報告が担当より行われました。これも役員会で承認されたものです。

③令和5年度事業計画(案)

事業案については事務局からの提案どおり承認されました。

④令和5年度予算(案)

会計担当より提案があり承認されました。

⑤令和5年度役員(案)

平成20年度より会長を務められた山崎晃氏(12F)がこの度勇退され、後任には米谷浩氏(24P)を選出する案が承認されました。

⑥その他

・浜水会専用パソコン及び、必要なソフト購入が認められました。

広島支部総会・懇親会

日 時：令和5年7月23日(日) 10:30～14:30

会 場：ひろしま国際ホテル

出 席：21名

令和元年以来4年ぶりに広島支部総会・懇親会が開催され、本部事務局からは米谷会長、山崎顧問、白井校長、山本事務局長が出席しました。

前回まで会場となっていたホテルがコロナ禍の間に廃業され、新たな会場となっていたのは少し淋しい気もしましたが、議事に続いた懇親会では初参加の米谷会長、白井校長も広島支部の皆さんと楽しい時間を過ごされたようです。



令和5年度 広島支部総会・懇親会

関西浜水会総会・懇親会

日 時：令和5年10月1日(日) 11:00～14:00

会 場：ニューオーサカホテル

出 席：26名

関西浜水会総会・懇親会も4年ぶりの開催となりました。本部事務局からは米谷会長、山崎顧問、白井校長の3名に出席して頂き、総会・懇親会をとおして関西浜水会の皆様と交歓することができました。

今回は大学生のお孫さんと一緒に出席された方がおられたようです。若い人の目にどのように映っていたか尋ねてみたいと思いました。



令和5年度 関西浜水会総会・懇親会

広島支部・関西浜水会のみでなく、本部事務局においても、若い会員の事業への参加をいかに促進するかが課題となっています。若い人の参加しやすい環境整備について考える必要があるようです。

浜水会入会式

令和6年2月29日(木)第74期生の浜水会入会式が開催され、事務局からは米谷会長と母校で勤務する7名の教職員が参列しました。この日を以て海洋技術科27名、食品流通科11名、合計38名が新会員となりました。



入会宣誓をする入会生代表

出版のお知らせ

昭和35年に水産製造科を卒業された、広島大学名誉教授の中川平介さん（10P）がこの度本を出版されましたので会員の皆様に紹介いたします。また、出版に当たっての文を翠香に寄せて頂きましたので併せて掲載いたします。



中川平介さんの著書

【中川平介さんより】

2024年2月、日本橋出版社より、「海藻で魚を美味しくする話」を出版しました。浜田水産高校入学から大学、大学院を経て、赴任した広島大学水産増殖学研究室で2006年の退官まで、一貫して「水産分野」に身を置き、研究に携わりました。

健全な養殖魚とはどのようなものなのでしょうか。ふとした思い付きで様々な魚に藻類を与えたところ、明瞭に健全性の向上が認められました。健全性向上の根拠の科学的な証明を試みました。今では世界中の養殖魚の配合飼料に藻類が添加されています。たまたま研究で訪れた地球の裏側のアルゼンチンの配合飼料工場での私の研究結果が当然のごとく実用されていることを目にして、思わず校歌にある「氷山の海、インド洋、その潮鳴りを遠く聞き――」を彷彿させる思いをしました。

本書には、研究の解説に加え、研究生活、水産物、水産業に纏わる話を掲載しました。

本書は水産高校の図書館にも送呈しましたので在校生、卒業生の皆さんにお読みいただければ幸いです。

す。

これまでに私が編集や執筆に関わりました専門書は全て水産高校の図書室に寄贈しております。専門的な内容に興味のある方はそれらもご覧ください。

令和5年度 学校の様子

入学式：4月11日（火）

今年度の入学生は海洋技術科20名、食品流通科11名の計31名でした。定員は2学科80名なので大幅に定員割れをしています。島根県西部の少子化によって近隣中学校からの入学生は減少し、県外からの入学生に支えられている側面もありますが、生徒一人一人を大切にしたい教育が展開できるメリットもあります。

参考のために各卒業年度の県外生割合を示した表を次に掲載します。学校の状況を想像してみてください。

卒業年度別の県外生

年度	県外	県内	合計	県外割合
令和元年	14	32	46	30.4%
令和2年	12	33	45	26.7%
令和3年	13	29	42	31.0%
令和4年	7	33	40	17.5%
令和5年	11	27	38	28.9%
現2年生	9	38	47	19.1%
現1年生	5	26	31	16.1%
合計	71	218	289	24.6%

先輩と語る地元企業職業セミナー：

6月14日（火）

生徒達が地元の企業情報を得るために毎年実施しています。今回は浜田市・江津市の14事業所から20名の卒業生が来校し、在校生全員を対象にセミナーを開催しました。目的はもちろん地元へ就職する生徒の確保にありますが、県外からの生徒も真剣に卒業生の話を聞いていました。

このセミナーへの参加事業所名を上げておきます。会員の皆さんにも馴染みのある名前が多いのではないのでしょうか。もし、うちの会社も加えて欲しいという要望があれば、学校の進路部までお知らせください。

【参加事業所】

（株）大磯／（株）キヌヤ／（株）ケイ・エフ・ジー／（株）サンクラフト／島根合板（株）／太陽ケーブルテック（株）／浜田大敷組合／（株）浜田あけぼの水産／浜田港運（株）／社会福祉法人 浜田福祉会／マルハマ食品（株）／医療法人社団 水澄み会／（有）やなぎ水産／若女食品（株）

以上

学年別活動：7月3日（月）～7月7日（金）

夏休み前の学校行事といえば、平成の初めまでは遠泳でした。まだ砂浜だった桧ヶ浦から泳ぎだした経験のある方も多いのではないのでしょうか。

現在は遠泳が行われることはなく、代わりに学年別活動という行事が行われています。1年生は Cutter 訓練をメインにした海洋活動、2年生は地元企業へのインターンシップ、3年生は特別進路活動がその内容です。



遠泳（昭和の終わり頃）

体育祭：9月2日（土）

何の制限もない体育祭をやっと開催できました。生徒達は準備段階から楽しく、のびのび活動しているように見えました。また、当日来場した来賓や保護者の皆さんもとても明るい表情で観戦しておられました。もちろん学校のスタッフも同様です。これが本来の姿なのでしょう。もう昨年までの窮屈な体育祭は御免被りたいものです。



青分団デコレーション

かつては漁業科の青分団、機関科の黄分団、水産製造科の赤分団と3分団ありましたが、今は海洋技術科3年を中心にした青分団、食品流通科3年を中心とした赤分団の2分団です。デコレーションや応援席も小さくなりましたが、体育祭へ向ける生徒達の情熱は以前と変わりません。ただし、下級生へ無

理難題(?)を押しつける上級生の姿は見られなくなりました。



赤分団デコレーション

水高祭：10月21日（土）・10月22日（日）

水高祭も各種制限がなくなり、多くの来場者で賑わいました。初日の生徒会企画は趣向を凝らしたもので、教員と生徒のチームワークが有効に機能していたことがよくわかります。また、食品流通科は全学年で体育祭後から水高祭に向けて準備を始め、時間をかけて実習製品の製造に取り組んでいました。また、海洋技術科は魚市、冷凍マグロ販売、タッチプール等の準備を行ってきました。

当日はたくさんのお客様を迎え、忙しそうではありましたが、生徒達自身も楽しみながら一時を過ごしたようです。

来年度の水高祭は10月19日（土）、20日（日）に開催されます。ぜひお出てください。



課題研究発表会：令和6年1月31日（水）

3年生が1年間取り組んだ研究の成果を発表する課題研究発表会が、今年も石央文化ホールで開催されました。平成22年1月29日に「地域産業担い手育成プロジェクト実践発表会」として第1回が行われてから今回で15回目となりました。途中で「いわみーる」が会場となったり、コロナにより校内でのオンライン開催を余儀なくされたりしましたが、今回まで途切れることなく実施され、生徒のプレゼン能力や発表力の育成に役立ってきました。これからも引き続き開催される予定です。

3年生は海洋技術科5グループ、食品流通科4グループが以下のとおり1年間の研究成果を発表しました。

【海洋技術科】**1. 海洋ゴミ調査班**

発表題目「海洋ゴミ調査」

内容：浜田市の海岸漂着ゴミを調査・分析し、ゴミ調査団体「JEAN」のホームページで公開する。

2. 漁業班

発表題目「SUIKO PROJECT 2023」

内容：竿釣り・延縄漁業体験と浜田沖の生物調査及び、スマート漁業の情報収集。

3. 資格取得班

発表題目「資格取得をとおして」

内容：四級海技士（機関）及び第三種冷凍機械責任者の出題傾向を調査し、年間を通した学習計画を作成する。

4. 養殖班

発表題目：「フリー配偶体技術を利用したワカメ養殖の研究」

内容：養殖技術継承のための実践と、早期収穫を目指した海水冷却装置の試作。

5. ものづくり班

発表題目「水中ロボとアンカー製作」

内容：前年度の水中ロボを改造し、マリンロボットコンテストで完走を目指す。また、養殖班から依頼されたイカダ用アンカーの製作。



漁業班の発表

【食品流通科】**1. マヨネーズ班**

発表題目「マヨネーズのチカラ」

内容：マヨネーズと魚肉との相性を数値で可視化する。また、QRコードでレシピを紹介する。

2. イベント企画班

発表題目「イベント企画水高祭りの開催」

内容：コロナ後に対応したイベントを、生徒が企画・実践して地域活性化に貢献する。

3. レシピ開発班

発表題目「実習製品を使った美味しいメニューの発信」

内容：好評だった昨年の研究を発展させ、実習製品のアレンジレシピを考案して発信する。

4. 料理研究班

発表題目「どんちっち三魚を使って料理研究」

内容：どんちっち三魚の新メニューを試作し、「ぐっさん」のオーナーに試食してもらう。将来は店のメニュー化を目指す。



カレーのタルタルソースガーリック丼

【課題研究余話】**★その1**

マリンロボットコンテストに満を持して出場した物づくり班でしたが、リハーサルでは順調に作動したロボットが、本番でマシントラブルを起こしてしまい、残念ながら目標としていた完走を果たせませんでした。来年こそリベンジして欲しいですね。

★その2

「ぐっさん」のメニュー採用を目指した料理研究班は「カレーのタルタルソースガーリック丼」を完成させ、オーナーに試食してもらいました。料理として一定の評価は頂きましたが、店のメニュー採用には至りませんでした。海鮮丼や寿司といったポピュラーな魚料理と並ぶメニュー開発は、とてつもなく難しいと実感したようでした。

実習製品市役所販売：令和6年2月22日

食品流通科の教育活動と実習製品を浜田市民へ紹介するため、浜田市役所で販売会を行いました。市の広報等で周知を図ったところ、多くの市民が来場

され、あっという間に完売となりました。来年度も実施の予定です。水高祭に行きそびれた方や実習製品を購入したい方にはよい機会となります。ぜひご来場ください。



市役所での実習製品販売会

また、来年1月に広島市で行われる「しまねふるさとフェア2025」にも食品流通科の製品販売が行われる予定です。会場の屋台村にブースを設けていますので、お近くの方は母校の味(?)をお求めになってはいかがでしょうか。

卒様式：令和6年3月1日

海洋技術科3年生27名、食品流通科3年生11名、専攻科漁業科6名、専攻科機関科5名の合計49名が新たな航海へ出発しました。今回の卒業式では担任による卒業生の呼名が嗚咽で途切れ途切れになったり、在校生送辞の2年生と卒業生答辞の3年生は涙でぐしゃぐしゃになったりと、来賓の方がもらい泣きするような感動的な卒業式でした。生徒も教職員も充実した日々がそこにあったのでしょう。



涙の卒業生代表答辞

今年度の本科卒業生及び専攻科修了生の進路先一覧を右に上げておきます。ひょっとすると会員の皆さんにお世話になるかも知れません。お近くに彼らがおりましたらよろしくお願いします。

		事業所・学校名	地域	業種・学科等
海洋技術科	就職	(合)石見水泉社	浜田	給排水工事
		海洋技術開発(株)	東京	海洋調査
		島根さんれい(株)	浜田	販売
		太陽ケーブルテック(株)	江津	電線製造
		(株)浜田あけぼの水産	浜田	底引き網漁業
		浜田港運(株)	浜田	港湾作業
		浜田電気工事(株)	浜田	電気工事
		久本汽船(株)	岡山	内航海運
		(株)ファースト海運	徳島	内航海運
		北星海運(株)	東京	内航海運
		(有)北陽水産	鳥取	力二簗漁業
		宮田建設工業(株)	浜田	総合建設業
		明和工業(株)	神奈川	空調設備
		(株)やまひろ 可部工場	広島	冷凍食品製造
		(株)六甲船舶	大阪	内航海運
食品流通科	就職	専攻科	浜田	漁業科
		専攻科	浜田	機関科
		(株)大機	浜田	食品製造
		企業警備保障(株)	益田	空港保安警備
		ケービー(株)	浜田	製造業
		(株)サンデリカ 広島事業所	広島	食品製造
		生活協同組合しまね	浜田	販売・サービス
		日本海信用金庫	浜田	金融
		山崎製パン(株)	広島	食品製造
		進学	浜田	看護
		浜田ビューティーカレッジ	浜田	美容
専攻科	就職	アジアパシフィックマリン(株)	福岡	内航海運
		泉汽船(株)	東京	内航海運
		栄吉曳船(株)	岡山	曳船
		エスオーシーマリン(株)	東京	内航海運
		鹿児島船舶(株)	愛知	内航海運
		大四マリン(株)	東京	内航海運
		大洋エーアンドエフ(株)	東京	海外巻き網
		八馬汽船(株)	兵庫	外航海運
		福井備蓄マリン(株)	福井	石油備蓄管理
		宮崎産業海運(株)	大分	内航海運
		(有)山上汽船	広島	曳船

部活動の結果

◆弓道部◆

○第66回中国高等学校弓道選手権大会島根県予選
期 日：4月22日・23日
会 場：大田高等学校弓道場
成 績：男女個人&団体 予選敗退

○第61回島根県高等学校総合体育大会弓道競技
期 日：6月1日・2日・3日
会 場：益田市営弓道場
成 績：個人の部
女子該当無し
男子『K3新田、小本、K2大串予選突破』
『K3新田、K2大串2回戦突破』
『K3新田、K2大串3回戦を経て結果、K3新田個人第5位』

団体の部：女子予選敗退
男子予選通過
男子準決勝敗退『団体5位』

○令和5年度島根県弓道新人大会西部地区大会
期 日：9月16日
会 場：江津工業高校弓道場
成 績：男女とも敗退（個人団体）

○令和5年度島根県高等学校弓道選手権大会
期 日：10月28日～29日
会 場：出雲高校弓道場
成 績：男女とも敗退（個人団体）

◆卓球部◆

○第70回中国高等学校卓球選手権大会島根県予選
期 日：4月28日～30日
会 場：島根県立浜山体育館（出雲市）
成 績：男子6名参加

○第61回島根県高等学校総合体育大会
期 日：6月1日～6月3日
会 場：益田市民体育館（益田市）
成 績：男子8名参加

○第50回県高等学校一年生大会
期 日：8月20日
会 場：大田市立総合体育館
◇男子3名参加

○令和5年度県高校選手権大会
期 日：9月8日～10日
会 場：島根県立体育館
◇男子7名参加

○令和5年度県高等学校新人大会
期 日：10月27日～29日
会 場：益田市民体育館
◇男子8名参加

○第51回全国高等学校選抜卓球会シングルス（2部）島根県予選会
期 日：1月14日
会 場：大田市立総合体育館
◇男子5名参加

◆カッター部◆

○第55回日本海南部地区水産・海洋系高等学校カッターレース大会
期 日：6月18日
会 場：鳥取県境港市 特設コース
成 績：第4位

◆ハンドボール部◆

○令和5年度 第61回島根県高等学校総合体育大会（ハンドボール競技）
期 日：6月2日～4日
会 場：大田市大田総合体育館
成 績：男子1回戦
浜田水産 3 - 31 松江東

○令和5年度島根県高等学校新人ハンドボール大会
期 日：11月11日、12日
会 場：松江東高校体育館
成 績：男子1回戦
浜水 13対29 松江工業

○全国高校選抜中国予選兼中国新人県予選会
期 日：12月23日、24日
会 場：大田市立総合体育館

成 績：男子1回戦
浜水 9対35 松江南

◆野球部◆

○第105回全国高等学校野球選手権記念島根大会
期 日：7月15日
会 場：松江市営野球場
成 績：立正大湊南 15 対 0 浜水・江津

○令和5年度島根県高等学校秋季野球大会
期 日：9月15日・17日
会 場：松江市営野球場
成 績：1回戦
松高専 6 - 12 松江北・江津・浜水
2回戦
開星 6 - 1 松江北・江津・浜水

◆写真部◆

○令和5年度高文連写真専門部春季コンクール
期 日：6月8日
会 場：益田市立市民学習センター
成 績：

【特選】 K2 小松 樹「直球勝負」
S2 池田 恵梨「いつめんの帰り道」
K1 砂 空汰「黄昏れる少女二人」

【入選】 K2 小松 樹「九腸寸断」
〃 「八面玲瓏」
S2 大崎 綾音「はっくしょん」
〃 「空も飛べるはず」
S2 小川 美優「スマホ越しの菜の花」
〃 「春休みと友達」



直球勝負

○島根県高文連 秋季写真コンクール
期 日：10月24日
会 場：江津工業高校
成 績：

【特選】 S2 大崎 綾音「撮るよー」
K2 小松 樹 「リラックス」
「ホームラン」

S1 松本 優空「見つめた先には」

【入選】 S2 池田 恵梨「シャキーン」

「これよくない？」
【入選】 S2 池田 恵梨「シャキーン」
 S2 大崎 綾音「まちぼうけ」
 K2 小松 樹「誰!？」
 K2 下野 良牙「てかり」
 「あ～ん 食べちゃうぞ!!」
 「今日は風」
 K1 砂 空汰「風化」

○令和5年度 第51回島根県高等学校写真展

期 日：2月9日～2月11日

会 場：島根県芸術文化センター・グラントワ

◇春季コンクールで特選に選ばれた3点と秋季コンクールで特選に選ばれた4点の計7点を写真展に出品しました。その結果、出品した7点すべてが「入選」となりました。



「撮るよー」

◆ 茶華道部◆

○秋のお茶会

期 日：11月12日

会 場：浜田城資料館

◆ 茶華道部・浜水クラブ合同◆

○すくすく子どもまつり

期 日：10月28日

会 場：子育て世代包括支援センター

茶華道部、浜水クラブのほかに男子4人がボラティアで参加して

高校の統合について

日本中で少子化が進んでいるのは皆さんご存じのことと思います。島根県も例外ではなく特に石見地方では顕著です。

この傾向から公立高校の多くが定員割れとなり、ついに2028年度前後をめどに江津工業高校と江津高校の統合が県教委から発表されました。新しい学校の姿はまだ具体的になってはいませんが、統合に向けての作業は静かに進んでいるようです。

皆さんの中学時代の同級生には江津工業や江津高

校に進学した友人もおられたのではないのでしょうか。また、高校生の時には部活の試合で競った思い出もあるのではないのでしょうか。

両校の統合についてはさみしい思いを隠せません。定員割れの続く本校も他人事ではないと思わざるを得ませんね。

近隣高校の今年度入学者数を一覧として載せておきますので、高校の置かれた現状をご理解ください。

No.	学校名	入学者	定員	充足率
1	大田高校（普通）	94	120	78.3%
	大田高校（理数）	24	40	60.0%
2	邇摩高校（総合学科）	93	120	77.5%
3	島根中央（普通）	66	80	82.5%
4	江津高校（普通）	56	80	70.0%
5	江津工業（機械・ロボット）	11	40	27.5%
	江津工業（建築・電気）	25	40	62.5%
6	浜田高校（普通）	136	160	85.0%
	浜田高校（理数）	28	40	70.0%
7	浜田商業（商業）	71	80	88.8%
8	益田高校（普通）	95	120	79.2%
	益田高校（理数）	30	40	75.0%
9	益田翔陽（電子機械）	15	40	37.5%
	益田翔陽（電気）	20	40	50.0%
	益田翔陽（生物環境工学）	43	40	107.5%
	益田翔陽（総合学科）	46	40	115.0%
10	津和野（普通）	44	80	55.0%
11	浜田水産（海洋技術）	26	40	65.0%
	浜田水産（食品流通）	23	40	57.5%

※報道発表時点の数値であり、入学辞退者等は含みません。

事務局より

中川平介さんが出版された本を読ませていただきました。広島大学生物生産学部教授を務められた方らしく生物学的な記述も沢山ありますが、ユーモアのセンスにあふれた文章に、次へ次へとページをめくってしまいました。私にとっては楽しくて面白いエッセーでした。いつかお目にかかり、さらなる裏話を伺ってみたいものです。会員の皆様にも一読をお勧めします。

令和2年2月の「浜水を語る会」以降は「浜水会入会式」と「翠香」の発行以外の事業は全く行えませんでした。今年度になりやっと浜水会の事業が行えるようになったところです。現在は米谷新会長、副会長及び事務局とで今後の運営について検討に入っているところです。

また、毎号校長先生からの挨拶文を載せていましたが、今回は教員の働き方改革の一環としてお願いしませんでした。ご了承ください。